武蔵水路の防災操作(内水排除)を実施

水資源機構利根導水総合管理所が管理する武蔵水路周辺(埼玉県行田市・鴻巣市)では、台風 10 号の影響により、8月29日(木)10時から30日(金)14時にかけて累計 110mm (熊谷地方気象台熊谷観測所)の降雨を記録しました。

武蔵水路では、この降雨に伴う河川及び周辺地域からの出水を2箇所の水門及び6箇所の放流口から水路内に取り込み、荒川に排水する操作(内水排除)を行いました。

内水排除の水量は累計約 160.5 万 m³ で、東京ドーム (124 万 m³) 約 1.3 杯分に相当します。

今回の内水排除により、忍川の佐間水門地点で約 1.07m、元荒川の川面水門地点で約 0.33m の河川水位低 減効果があったものと推定されます。



令和6年9月5日 独立行政法人 水資源機構 利根導水総合管理所

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、水資源記者クラブ 竹芝記者クラブ、熊谷記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 利根導水総合管理所 総務課長 菊地

住 所:埼玉県行田市大字須加字船川4369

電 話:048(557)1501

ないすいはいじよ

武蔵水路の防災操作(内水排除)

-台風10号の影響に伴う出水における水位低減効果-

1. 降雨の状況

武蔵水路周辺では台風 10 号の影響により、8 月 29 日 (木) 10 時から 30 日 (金) 14 時にかけて累計での雨量が 110 mm(熊谷地方気象台熊谷観測所)を記録し、8 月 29 日 (木) 21 時から 22 時にかけて時間雨量が 25 mmの強い雨となりました。

2. 武蔵水路の防災操作(内水排除)

武蔵水路では、降雨による出水を2箇所の水門及び6箇所の放流口から武蔵水路内に取り込み荒川に排水する内水排除を実施しました。また、荒川上流域の降雨により荒川水位が上昇したため、武蔵水路への逆流防止のため、糠田排水樋管ゲートを全閉し、糠田排水機場のポンプ運転による内水排除も実施しました。

水 門: (行田市) 佐間水門(窓川)、(鴻巣市) 川面水門(元荒川)

放流口: (行田市) 長野落放流口、8号放流口、旧忍川放流口、堤根放流口

(鴻巣市) 川面放流口、赤見台放流口

排水機場: (鴻巣市) 糠田排水機場

今回の内水排除で排水した量は、8月29日(木)22時から30日(金)14時までで累計約160.5万 m^3 、東京ドーム(124万 m^3)約1.3杯分の量に相当します。

3. 佐間水門及び川面水門における内水排除の効果

忍川の佐間水門地点において、30日(金)1時40分時点のピーク水位 A.P.+18.32mに対して、佐間水門により出水を取り込まなかった場合の水位は A.P.+19.39mになると考えられ、約1.07mの水位低減効果があったものと推定されます。

元荒川の川面水門地点において、30日(金)2時20分時点のピーク水位 A. P. +16.93m に対して、川面水門により出水を取り込まなかった場合の水位は A. P. +17.26m になると考えられ、約0.33m の水位低減効果があったものと推定されます。

※A. P. は荒川工事基準面

4. これまでの内水排除実績

武蔵水路改築事業(平成27年度完成)以降に実施した内水排除は、通算33回目になります。

平成28年度実績: 內水排除6回 令和5年度実績: 內水排除2回

平成29年度実績:内水排除3回 令和6年度実績:内水排除1回(9月5日現在)

平成30年度実績:内水排除3回 令和元年度実績:内水排除5回 令和2年度実績:内水排除5回 令和3年度実績:内水排除3回 令和4年度実績:内水排除5回

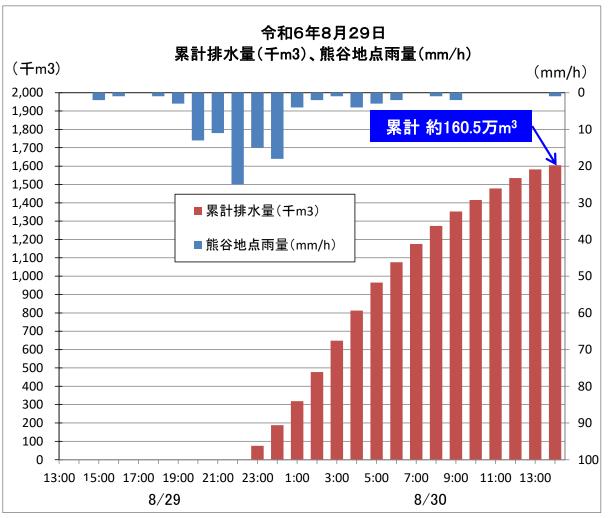
※改築事業以降の最大排水量:約537万m³(平成29年10月22日~24日)

武蔵水路位置図



武蔵水路 水門・放流口等位置図 (赤字の施設は内水排除操作を行った施設)

令和6年8月29~30日 台風10号の影響による降雨に伴う武蔵水路内水排除速報





佐間水門の出水取込みによる忍川の水位低減効果※

- ・ 8箇所の水門・放流口により出水を武蔵水路に取り込み、累計約160.5万m³※1を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム(124万m³※2)約1.3杯分の量に相当します。
- ・ 佐間水門、川面水門で出水を取り込んだことにより、忍川(佐間水門付近)で約1.07m、元荒川(川面水門付近)で約0.33mの水位低減効果※1があったものと推定されます。





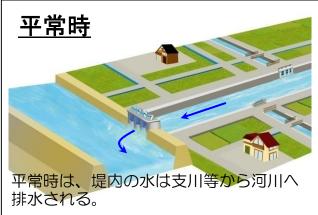


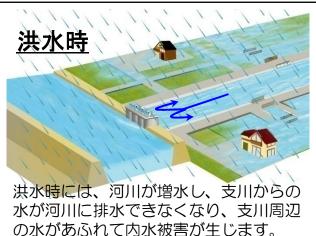


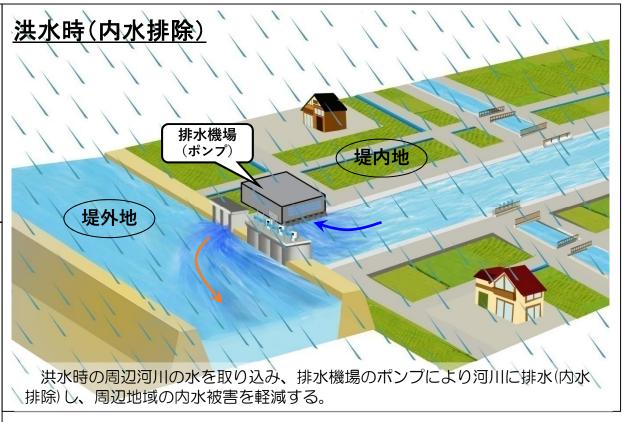
(参考)内水排除について(基本事項)

◆内水排除とは

堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する川や下水路の排水能力の不足が原因で、降った雨が堤防に囲まれた堤内地^{※1)}に湛水し、家屋や作物等への被害が生じることを内水被害といい、堤内地の湛水や堤内小河川の水を堤外地^{※2)}に排水することを内水排除という。







- ※1) 堤内地とは、堤防により洪水の氾濫から守られている土地を指す。
- ※2) 堤外地とは、洪水や流水の流れる河川側を指す。